



## 活動報告



### 鈴木隊員 ご挨拶

平成28年4月から、剣淵町地域おこし協力隊として活動させていただき、あっという間に3年が経過。本当に短く感じる3年間でした。私の地域おこし協力隊の任期は3月末をもちまして満了となり、今月の広報が最後の活動報告となります。

様々な活動と経験をさせてもらいました。平成28年の夏には、前任の協力隊が企画して開催した「けんぶち屋台村」。平成29年、30年には、私が地域おこし協力隊に応募するにあたり企画提案していた剣淵町のCM、剣淵町産じゃがいものプロモーション動画と絵本の里けんぶち町のPR動画をつくらせてもらいました。また、町の基幹産業である農業にブランド力をつける取り組み（けんぶち農業ブランド化事業）のお手伝いさせていただいたことで、剣淵町のことに加えて、ロマンあるまちづくりを学ぶことができました。今後の私の人生において、有益なものとなる大変貴重な経験を積ませてもらいました。

皆様には、大変お世話になりながらも、私の力不足のために多々ご迷惑をおかけしました。皆様からの温かい「頑張っ！」の言葉が、私の背中を押し、支えにもなり、のびのびと活動することができたのだと思います。心より感謝と御礼を申し上げます。

そして、この4月からは、剣淵町役場職員としてお仕事をさせていただくこととなりました。これまでの社会人経験と地域おこし協力隊の期間に培ったことを土台として、皆様が「幸せ」を感じられる町であり続けられるよう、努めていきます。今後ともよろしくご願ひ申し上げます。



### 村上隊員



4月は21日(日)に元池田菓子店で開催する「創作作家さんのつどい」の2回目を準備しています。今回は、あんかけラーメンやスイーツをご提供しつつ、旭川から参加して下さる「みとみや」さん、町内在住の岡さんがワークショップを開催してくれます。委託物販では、ベーグルや刺繍、さおり織りなどを販売させていただきます。私は、自家製卵を使ったシフォンケーキとコーヒーを販売する予定です。ぜひ、遊びに来てください！

そして、今後のイベント開催のためにワークショップをして下さる作家さん、作品を委託物販させて下さる方を募集しています。お気軽にご連絡ください！

自宅の方では、いよいよヤギを迎えます！この冬生まれた子ヤギです。犬、猫、鶏、ヤギとふれあいミニ牧場みたいになってきて、あとロバがいればプレーメンですね・・・

雪が融けたらワークショップ用の花材を育て始めたり、ラベンダーの精油の抽出も挑戦してみたいと思っています。





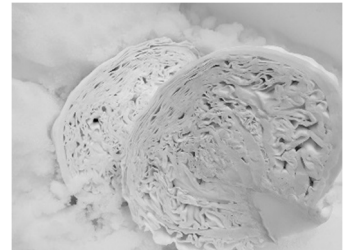
## 小西隊員

¡Hola! Soy Rika.改めまして「ペルー知る〜?」のご報告です。剣淵、土別、和寒から14名の参加があり、剣淵とペルーの交流を知っていただくいい機会になりました。スペイン語に興味を持たれた方が多く、「もっと勉強したい」という声も聞こえてきました。佐々木前町長による姉妹都市の話、アルパカ牧場さんのペルー関連の品々のおかげでイベントがさらに盛り上がりました。ご協力ありがとうございました。

ネットショップでは雪の中に冬キャベツを入れた商品を販売しました。試行錯誤の末の商品化です。予約販売という形で2月末、ちょうど雪が降った翌日にサラサラの新雪を詰めて発送することができました。雪がない地域で喜んでいただけたのではないのでしょうか。



ペルー知る〜?の様子



冬キャベツを雪とともに



## 青木隊員 「“マイボトル企画” 進行中・・・」



素人作のため非売品です(苦笑)

現在マイボトルを使って剣淵を盛り上げようと企画中です。つい最近、企画用のマイボトルのデザインができました。折角なのでこの場でちょっとだけ公開します！

どんな企画でこのマイボトルが登場するかと言いますと、現段階では剣淵のPRのためのプレゼント応募企画というところまでしかお伝えできません。すみません。詳細は近日中に公開予定ですが、気になる方は私をつかまえて聞いてみて下さい。もしくは、協力隊のフェイスブックにアップされていないかチェックしてみてください。

ちなみにマイボトルは節約やマメな水分補給ができると若い女性を中心に人気とのこと。女性に限らず、最近「水筒男子」も増えているそうです。



## 佐々木隊員

先日「地方の資源を活用したビジネス」をテーマとした研修に行ってきました。そこで実際に事業計画書を作り、私は絵本の宿と絵本カフェを剣淵につくるといった発表をしました。町の資源を「絵本の里けんぶち」と設定して、色々な方にお話を聞き、調べました。詳しく知っていくなかで、改めてこの資源は本当に素晴らしいものだと感じました。まちおこしの素材は自然・食・人・文化など様々あります。そのなかでも「絵本」という今も昔も価値が変わらないものを30年も前に定められ、絵本が持つ温かさを大切にしながら、ずっと活動を継続されてきたということは大きな宝であり、誇れる魅力です。これを経済と結びつけて町が潤う仕組みづくりが出来たらと思っています。

さて、寂しくも鈴木隊員は今月号が最後の広報です。目と心に焼き付けてくださいね！

